



2013年度 第3四半期決算

カンファレンスコール用資料

**2014年2月4日
参天製薬株式会社**



2013年度 第3四半期

**第3四半期累計業績概要と
通期業績予想**

**執行役員 財務・管理本部長
越路 和朗**

2011-2013年度中期経営計画：基本方針

世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの実現に向けて

1. グローバル視点での研究・開発へ転換
2. 新製品と営業戦略による国内でのシェア獲得と事業成長
3. 積極的な営業体制強化によるアジア事業、欧州事業の高成長
4. 世界4工場*体制への円滑な移行と、新興市場に対応した体制の構築
5. グローバルに創造と革新を担う組織強化・人材開発

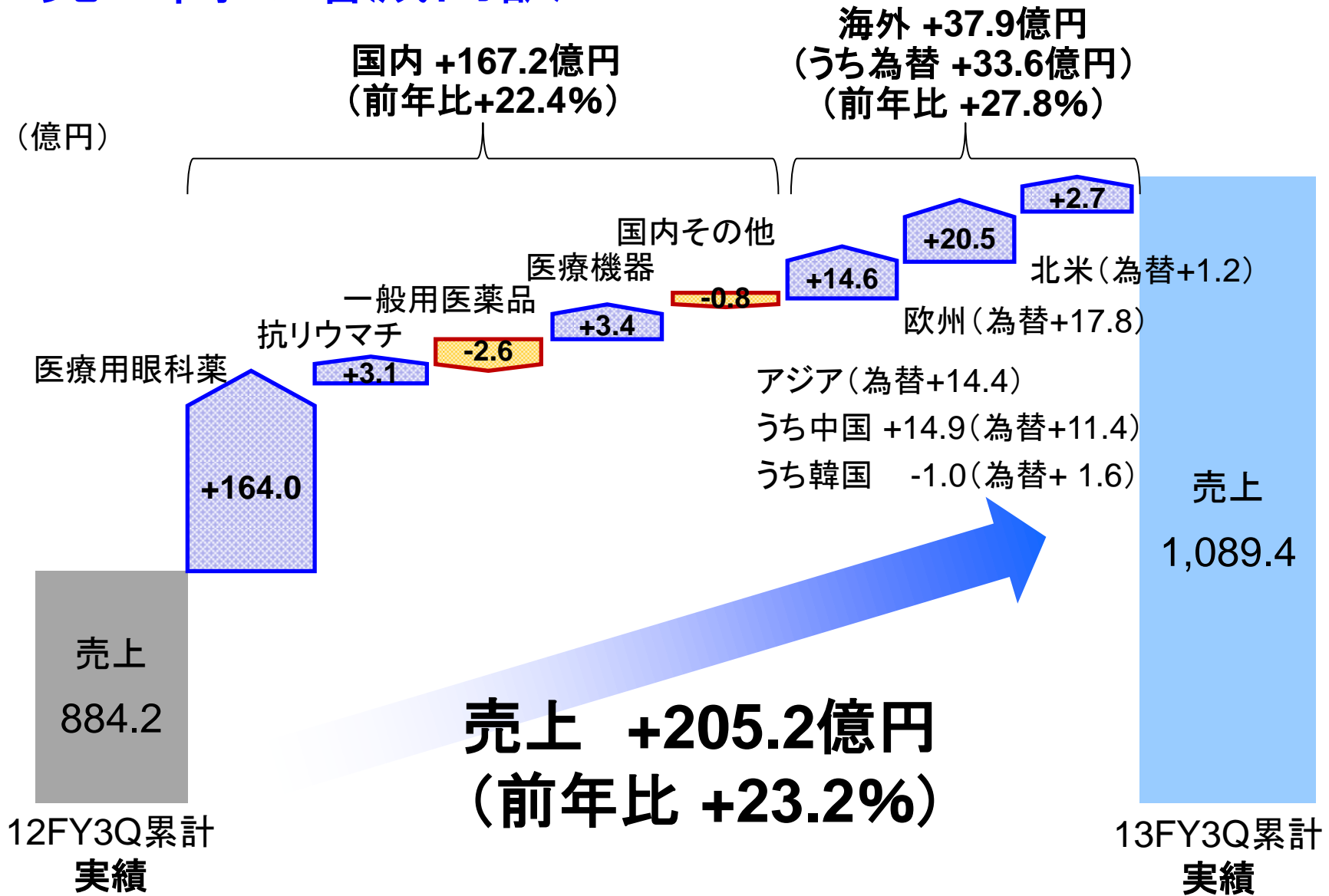
2013年度 第3四半期 決算概況

(単位:億円)	2012年度 第3四半期累計 実績	2013年度 第3四半期累計 実績	対前年同期 増減率
売上高	884.2	1,089.4	+23.2%
売上原価 (対売上高比率)	297.5 33.7%	425.7 39.1%	+43.1% +5.4pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	259.9 29.4%	302.4 27.8%	+16.3% ▲1.6pt
研究開発費 (対売上高比率)	120.9 13.7%	124.9 11.5%	+3.3% ▲2.2pt
営業利益 (対売上高比率)	205.7 23.3%	236.3 21.7%	+14.9% ▲1.6pt
経常利益	212.6	242.9	+14.2%
四半期純利益	141.3	153.7	+8.8%

<為替レート>	12FY3Q累計実績	13FY3Q実績
US \$	JPY 80.01	JPY 99.17
Euro	JPY 102.12	JPY 129.59
中国元	JPY 12.53	JPY 15.49

2013年度 第3四半期累計

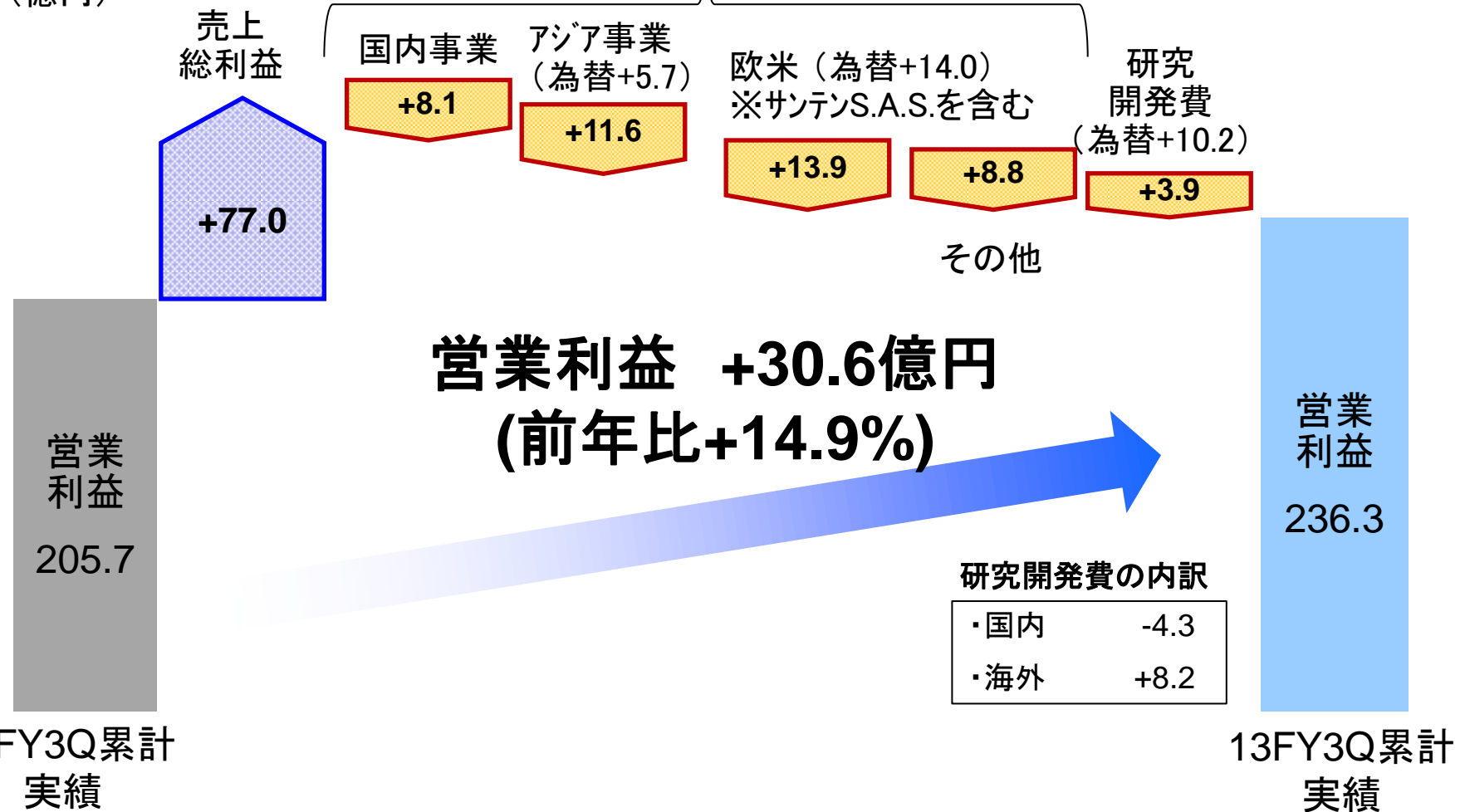
売上高の増減内訳



営業利益の増減内訳

販管費 (R&D費除く) +42.4億円 (前年比+16.3%)

(億円)





2013年度 連結業績予想

2013年度 修正連結業績予想(決算期統一前)

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度 修正予想*	対前年同期 増減率	修正前 2013年度 修正予想
売上高	1,190.6	1,460.0	+22.6%	1,415.0
売上原価 (対売上高比率)	415.0 34.9%	570.0 39.0%	+37.3% +4.2pt	550.0 38.9%
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	361.6 30.4%	430.0 29.5%	+18.9% ▲0.9pt	420.0 29.7%
研究開発費 (対売上高比率)	167.1 14.0%	185.0 12.7%	+10.6% ▲1.4pt	182.0 12.9%
営業利益 (対売上高比率)	246.8 20.7%	275.0 18.8%	+11.4% ▲1.9pt	263.0 18.6%
経常利益	256.0	285.0	+11.3%	268.0
当期純利益	165.2	185.0	+12.0%	182.0
ROE	10.0%	10.6%	+0.6pt	10.7%

<為替レート>	12FY累計実績	13FY予想
US\$	JPY 82.91	JPY 100.42
Euro	JPY 106.01	JPY 132.68
中国元	JPY 12.64	JPY 15.72

*12ヶ月間

2013年度 修正連結業績予想(決算期統一後)

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度 修正予想 (決算期統一後)	対前年同期 増減率
売上高	1,190.6	1,490.0	+25.1%
売上原価 (対売上高比率)	415.0 34.9%	580.0 38.9%	+39.8% +4.1pt
研究開発費除く 販売管理費 (対売上高比率)	361.6 30.4%	450.0 30.2%	+24.4% ▲0.2pt
研究開発費 (対売上高比率)	167.1 14.0%	195.0 13.1%	+16.6% ▲1.0pt
営業利益 (対売上高比率)	246.8 20.7%	265.0 17.8%	+7.4% ▲2.9pt
経常利益	256.0	275.0	+7.4%
当期純利益	165.2	175.0	+5.9%
ROE	10.0%	10.1%	+0.1pt

<為替レート>	12FY累計実績	13FY予想
US\$	JPY 82.91	JPY 100.42
Euro	JPY 106.01	JPY 133.37
中国元	JPY 12.64	JPY 16.00



**2013年度
配当実績および配当予想について**

2013年度上期配当実績および2013年度配当予想

■ 2013年度 上期

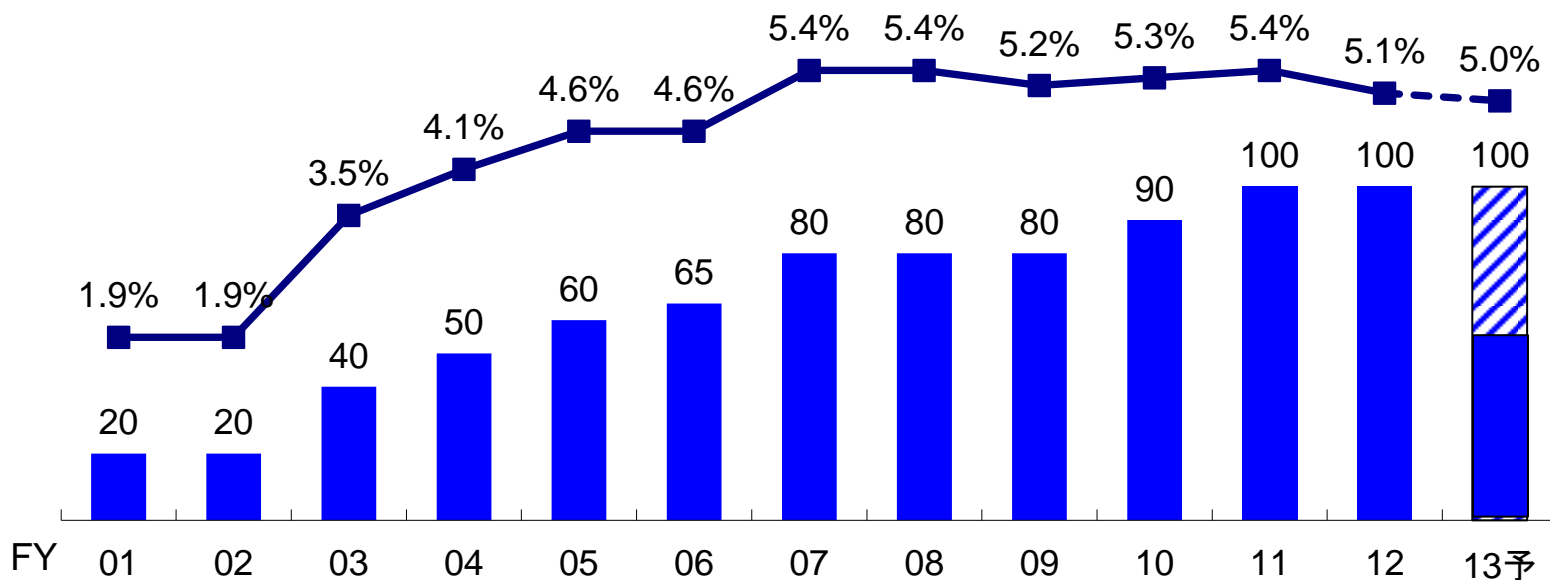
■ 上期配当実績:50円

■ 2013年度 通期

■ 年間配当予想:100円

■ DOE:5.0%を目処

■ 1株あたり年間配当額(円) ■ DOE(%)



	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013e
配当性向(%)	34.9	21.4	55.8	39.7	39.9	42.9	54.7	67.2	36.3	36.0	50.8	51.1	48.2
自己株取得額(億円)	32	32	0	26	0	0	48	0	0	0	0	137	-
総還元性向(%)	96.4	59.5	55.8	63.3	39.9	42.9	85.8	67.2	36.4	36.7	50.8	137.0	-



IFRS導入について

IFRS対応 予定表

- IFRS導入は15年3月期決算(14年度決算、15年5月に決算発表)より
 - 2014年5月:2014年3月期決算短信及び連結計算書類は日本基準
 - ・2015年3月期連結業績予想は日本基準
(参考値としてIFRS基準を開示)
 - 2015年5月:2015年3月期決算短信及び連結計算書類はIFRS基準へ
 - ・前年データとして2014年3月期決算数値をIFRSにて開示
 - ・2015年3月期の第1四半期から第3四半期は日本基準
- 当期決算(2014年3月期)から日本基準で認められている変更について
 - 実施済み:減価償却方法の変更、新退職給付会計適用等
 - 実施予定:決算期統一



參考資料
2013年度 第3四半期累計
連結業績概要

セグメント別売上高

(単位:億円)	2013年度第3四半期累計実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期増減率	売上高	対前年同期増減率	売上高	対前年同期増減率
医薬品事業	893.8	+22.1%	174.3	+28.0%	1,068.2	+23.1%
医療用医薬品	844.5	+24.2%	174.1	+27.9%	1,018.7	+24.8%
眼科薬	759.3	+27.6%	169.0	+26.9%	928.4	+27.4%
抗リウマチ薬	79.8	+4.2%	0.7	+12.2%	80.5	+4.2%
その他医薬品	5.4	▲32.6%	4.3	+85.5%	9.7	▲6.0%
一般用医薬品	49.2	▲5.1%	0.2	+214.5%	49.5	▲4.7%
その他	20.8	+33.9%	0.3	▲32.5%	21.2	+31.6%
医療機器	18.9	+22.4%	0.3	▲32.5%	19.3	+20.5%
その他	1.8	—	—	—	1.8	—
合計	914.6	+22.4%	174.7	+27.8%	1,089.4	+23.2%

海外売上高(仕向地別)

(単位:億円)	2012年度 第3四半期 累計実績	2013年度第3四半期累計		
		実績	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	3.6	6.3	+2.7	+74.2%
欧州	64.6	85.1	+20.5	+31.8%
アジア	68.4	83.1	+14.6	+21.5%
うち、中国	44.7	59.7	+14.9	+33.5%
うち、韓国	16.3	15.2	▲1.0	▲6.7%
その他	0.0	0.1	+0.0	+28.0%
合計	136.8	174.7	+37.9	+27.8%
海外売上高比率	15.5%	16.0%	+0.6pt	—

貸借対照表

(単位:億円)	2013年3月末		2013年12月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,325.8	66.4%	1,438.0	65.7%	+112.1
固定資産	670.5	33.6%	749.4	34.3%	+78.9
資産合計	1,996.4	100.0%	2,187.5	100.0%	+191.0
流動負債	270.1	13.5%	295.5	13.5%	+25.4
固定負債	74.9	3.8%	107.7	4.9%	+32.7
負債合計	345.0	17.3%	403.3	18.4%	+58.2
純資産合計	1,651.3	82.7%*	1,784.1	81.6%*	+132.8
負債純資産合計	1,996.4	100.0%	2,187.5	100.0%	+191.0

* 自己資本比率: 2013年3月末82.6%、2013年12月末81.4% ・発行済株式数: 13年3月末 82,469千株 → 12月末 82,547千株

【主要変動科目】

- 流動資産: 現金及び預金+37.4億円、受取手形及び売掛金+88.4億円、有価証券+14.0億円、商品及び製品▲26.8億円
- 固定資産: 建物及び構築物+7.7億円、機械装置及び運搬具+7.6億円、建設仮勘定▲13.4億円、のれん+3.1億円、仕掛研究開発+10.1億円、投資有価証券+54.2億円
- 流動負債: 支払手形及び買掛金+16.4億円、未払金▲7.8億円、未払法人税等+15.7億円、賞与引当金▲11.2億円、その他流動負債+12.0億円
- 固定負債: 退職給付に係る負債(前期科目名:退職給付引当金)+22.2億円※、役員退職慰労引当金▲2.4億円、事業構造改善引当金+7.8億円
- 純資産: 資本金+1.2億円、資本剰余金+1.2億円、利益剰余金+73.8億円、為替換算調整勘定+45.9億円、退職給付に係る調整累計額▲15.6億円

※ うち、会計基準変更により+22.9億円(主に、従前未認識であった債務の認識及び調整)。同基準変更により開示科目名も変更

損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位:億円)	2012年度 第3四半期 累計実績	2013年度 第3四半期累計		主な差異要因
		実績	前年比	
売上高	884.2	1,089.4	+23.2%	
売上原価 (対売上高比率)	297.5 33.7%	425.7 39.1%	+43.1% +5.4pt	・品目構成の変化+6.3pt ・製造固定費▲0.2pt ・その他原価率低下▲0.7pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	259.9 29.4%	302.4 27.8%	+16.3% ▲1.6pt	・国内事業 +8.1億円 ・アジア +11.6億円 (為替+5.7億円) ・欧米+13.8億円 (為替+14.0億円)
研究開発費 (対売上高比率)	120.9 13.7%	124.9 11.5%	+3.3% ▲2.2pt	・国内▲4.3億円 ・海外+8.2億円 (為替+10.2億円)
営業利益 (対売上高比率)	205.7 23.3%	236.3 21.7%	+14.9% ▲1.6pt	
営業外収益	8.5	8.6	+1.6%	
営業外費用	1.5	2.0	+30.6%	
経常利益	212.6	242.9	+14.2%	
特別利益	0.1	4.7	—	
特別損失	0.0	8.9	—	・サンテン・オイの構造改革に係る引当+8.2億円
税金等調整前当期純利益	212.7	238.7	+12.2%	
法人税等	71.4	84.9	+19.0%	
当期純利益	141.3	153.7	+8.8%	

<為替レート>	12FY3Q実績	13FY3Q実績
US\$	80.01円	99.17円
Euro	102.12円	129.59円
中国元	12.53円	15.49円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2013年度 第3四半期累計実績
現金等期首残高	597.9
現金等 増減額	+37.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	+160.3
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲59.4
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲79.2
現金等に係る換算差額	+15.6
現金等期末残高	635.2

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません

設備投資額/減価償却費

(単位:億円)	2012年度 第3四半期 累計実績	2013年度 第3四半期累計	
		実績	増減額
設備投資額	25.9	20.8	▲ 5.1
減価償却費	18.3	18.3	▲ 0.0



参考資料

2013年度 連結業績予想

セグメント別売上高（決算期統一前）

(単位:億円)	2013年度 予想*					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	1,197.0	+21.5%	233.5	+27.7%	1,430.5	+22.5%
医療用医薬品	1,132.6	+23.0%	232.7	+27.4%	1,365.4	+23.8%
眼科薬	1,024.7	+26.3%	225.9	+26.5%	1,250.6	+26.4%
抗リウマチ薬	99.4	+1.4%	0.8	+38.2%	100.3	+1.6%
その他医薬品	8.5	▲24.2%	5.9	+68.9%	14.5	▲1.9%
一般用医薬品	64.3	▲0.3%	0.7	+386.3%	65.0	+0.6%
その他	28.9	+32.2%	0.4	▲28.0%	29.4	+30.4%
医療機器	26.4	+21.2%	0.4	▲28.0%	26.8	+19.7%
その他	2.5	—	—	—	2.5	—
合計	1,225.9	+21.7%	234.0	+27.5%	1,460.0	+22.6%

*12ヶ月間

セグメント別売上高（決算期統一後）

(単位:億円)	2013年度 予想					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	1,197.0	+21.5%	263.5	+44.1%	1,460.5	+25.0%
医療用医薬品	1,132.6	+23.0%	262.7	+43.8%	1,395.4	+26.5%
眼科薬	1,024.7	+26.3%	255.9	+43.3%	1,280.6	+29.4%
抗リウマチ薬	99.4	+1.4%	0.8	+38.2%	100.3	+1.6%
その他医薬品	8.5	▲24.2%	5.9	+68.9%	14.5	▲1.9%
一般用医薬品	64.3	▲0.3%	0.7	+386.3%	65.0	+0.6%
その他	28.9	+32.2%	0.4	▲28.0%	29.4	+30.4%
医療機器	26.4	+21.2%	0.4	▲28.0%	26.8	+19.7%
その他	2.5	—	—	—	2.5	—
合計	1,225.9	+21.7%	264.0	+43.8%	1,490.0	+25.1%

海外売上高予想(決算期統一前)

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度*		
		予想	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	5.8	8.2	+2.4	+41.6%
欧州	92.0	112.5	+20.5	+22.3%
アジア	85.5	112.7	+27.1	+31.7%
その他	0.1	0.3	+0.2	+286.2%
合計	183.5	234.0	+50.4	+27.5%
海外売上高比率	15.4%	16.0%	+0.6pt	—

*12ヶ月間

海外売上高予想（決算期統一後）

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度		
		予想	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	5.8	8.2	+2.4	+41.6%
欧州	92.0	122.5	+30.5	+33.2%
アジア	85.5	132.7	+47.1	+55.1%
その他	0.1	0.3	+0.2	+286.2%
合計	183.5	264.0	+80.4	+43.8%
海外売上高比率	15.4%	17.7%	+2.3pt	—

設備投資額/減価償却費

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度	
		予想	対前期 増減額
設備投資額	42.0	34.0	▲8.0
減価償却費	25.3	25.0	▲0.3



参考資料

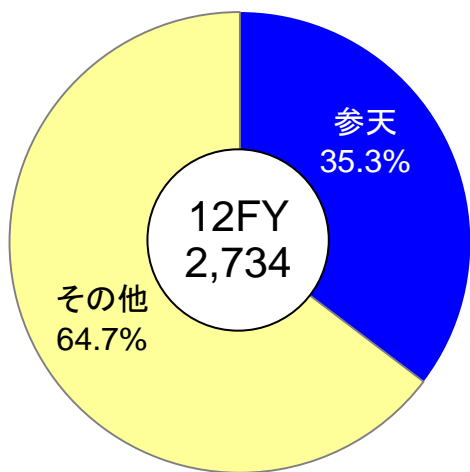
国内医療用眼科薬市場概況

国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科薬計：13FY3Qの市場規模は対前年+9.6%。網膜、角膜領域の市場拡大傾向続く。参天シェア40.2%
- ・緑内障：市場は対前年+8.4%拡大。参天はタプロス、コソプトの寄与により、対前年+9.5%、シェア30.7%
- ・角膜：市場は対前年+10.8%拡大。参天はジクアスが伸長し、対前年+4.9%、シェア71.2%

市場規模:億円
%: 金額ベース

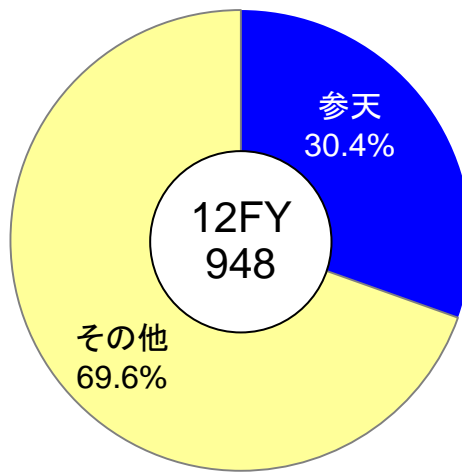
眼科薬計



12FY 2,734

(金額) 前年比	12FY		13FY3Q	
	市場	+7.3%	+9.6%	
参天	+4.9%	+23.8%		
参天シェア	35.3%	40.2%		

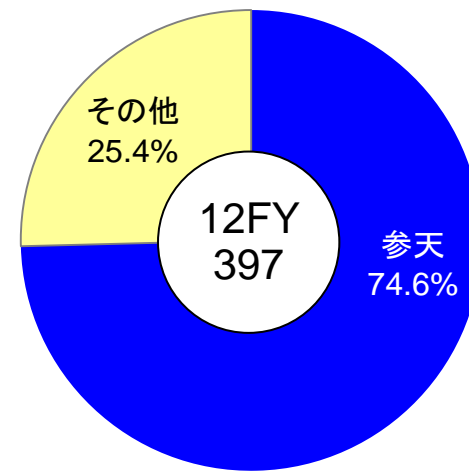
抗緑内障剤



12FY 948

		12FY		13FY3Q	
	市場	+2.8%	+8.4%		
	参天	+10.2%	+9.5%		
	参天シェア	30.4%	30.7%		

角膜疾患治療剤



12FY 397

		12FY		13FY3Q	
	市場	+11.3%	+10.8%		
	参天	+7.1%	+4.9%		
	参天シェア	74.6%	71.2%		

- 主な参天製品:
- ・抗緑内障剤: タプロス、コソプト、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
 - ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン、ジクアス
- 3Q = 3Q累計

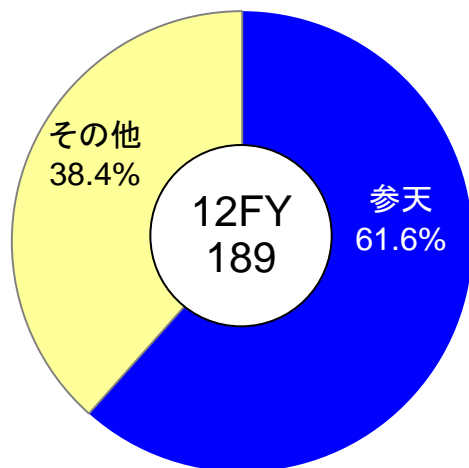
出典: ©2014 IMS Health
IMS-JPM 2011-13を基に参天分析
無断転載禁止

国内医療用眼科薬（抗菌・抗アレルギー）

- ・抗菌：市場は対前年-4.2%の縮小。参天はクラビットを中心にシェア59.5%を確保
- ・抗アレルギー：市場は対前年-0.4%縮小。参天シェアは21.5%（上期シェア18.3%）
11月下旬発売のアレジオンが参天シェア拡大を牽引

市場規模: 億円
%: 金額ベース

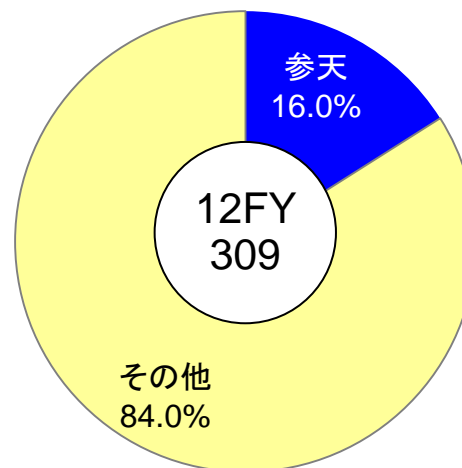
抗菌点眼剤



12FY 13FY3Q

(金額) 前年比	市場	-11.9%	-4.2%
	参天	-19.6%	-7.7%
参天シェア		61.6%	59.5%

抗アレルギー剤



12FY 13FY3Q

+16.8%	-0.4%
+6.4%	+14.2%
16.0%	21.5%

-主な参天製品:

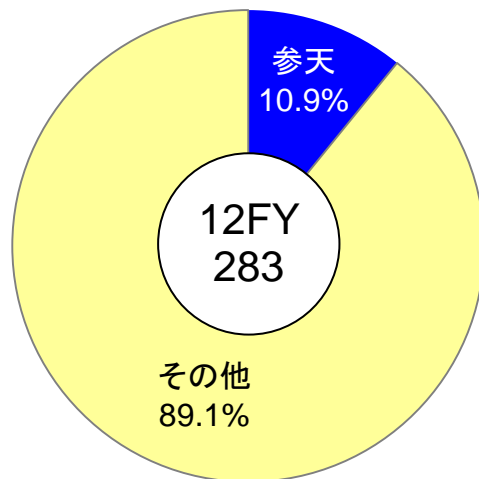
- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
 - ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレジオン、アレギサール
- 3Q = 3Q累計

国内医療用眼科薬(抗VEGF)／抗リウマチ薬

- ・抗VEGF：市場は対前年+41.7%拡大。アイリーアの高成長により参天シェアは49.7%を確保
- ・抗リウマチ：市場は対前年+3.9%拡大。参天シェアは38.8%

市場規模: 億円
%: 金額ベース

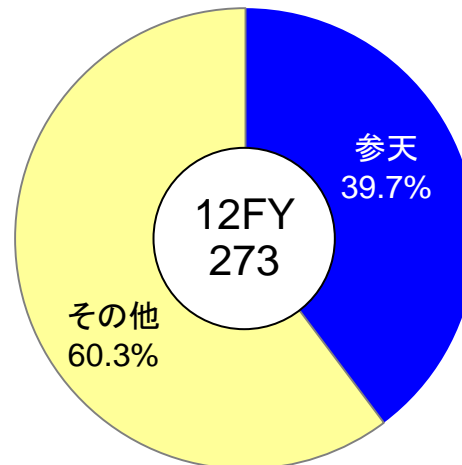
抗VEGF剤



12FY 13FY3Q

(金額) 前年比	市場	+30.1%	+41.7%
	参天	—	—
参天シェア		10.9%	49.7%

抗リウマチ剤(DMARDs)



12FY 13FY3Q

	市場	+0.3%	+3.9%
	参天	-2.8%	+1.8%
	参天シェア	39.7%	38.8%

-主な参天製品:
・抗リウマチ剤: リマチル、アザルフィジン、メトレート
3Q = 3Q累計

出典: ©2014 IMS Health
IMS-JPM 2011-13を基に参天分析
無断転載禁止



参天製薬株式会社

2013年度 第3四半期

新製品開発の現状

執行役員
研究開発本部長
金子 隆志

主要臨床プロジェクト状況一覧①【領域別】

(赤字下線: 13FY2Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
緑内障・ 高眼圧症		P2b 準備中 DE-117 EP2受容体作動薬		中国 DE-085 タフルプロスト	DE-118 タフルプロスト UD
		DE-090 ロメリジン塩酸塩		欧州 DE-111 日本 タフルプロスト/チモロール	
角結膜疾患				中国 DE-089 韓国 ジクアホソルナトリウム	
		米国 Cyclokat シクロスポリン		Cyclokat 欧州 シクロスポリン	
網膜・ ぶどう膜 疾患	米国 DE-120 VEGF/PDGF阻害剤		DE-109 シロリムス		
			DE-102 ベタメタゾン		
その他 感染症・アレルギー・RA		DE-098 抗APO-1抗体			DE-114 エピナスチン塩酸塩
			Vekacia シクロスポリン		

主要臨床プロジェクト状況一覧②【地域別】

(赤字下線: 13FY2Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

実施地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
日本			DE-102 ベタメタゾン		DE-118 タフルプロストUD
		DE-090 ロメリジン塩酸塩			DE-111 タフルプロスト/チモロール
		DE-098 抗APO-1抗体	DE-109 シロリムス		DE-114 エピナスチン塩酸塩
北米 (ラテンアメリカ含む)		P2b 準備中 DE-117 EP2受容体作動薬	DE-109 シロリムス		
		DE-120 VEGF/PDGF阻害剤			
		Cyclokat シクロスポリン			
アジア (オセアニア含む)				中国 DE-085 タフルプロスト	
				中国 DE-089 ジクアホソルナトリウム	韓国
欧州			DE-109 シロリムス	DE-111 タフルプロスト/チモロール	
			Vekacia シクロスポリン	Cyclokat シクロスポリン	

主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-085 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
中国	承認申請中	承認申請中	一般名： タフルプロスト

■DE-090 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
日本	承認	承認取得	一般名： タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩(配合剤)
欧州	承認申請中	承認申請中	

主要臨床プロジェクトの現状 — 緑内障・高眼圧症、角結膜疾患 —

■DE-117 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
米国	P2b準備中	P1/2a	EP2受容体作動薬

■DE-089 ドライアイ

製品名: ジクアス点眼液(日本)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
アジア	中国:承認申請中 韓国:発売	中国:承認申請中 韓国:発売	一般名: ジクアホソルナトリウム

主要臨床プロジェクトの現状 –アレルギー・リウマチ–

■DE-114 アレルギー性結膜炎

製品名:アレジオン点眼液(日本)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
日本	発売	承認取得	一般名: エピナスチン塩酸塩

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
日本	P2終了	P2終了	抗APO-1抗体

主要臨床プロジェクトの現状 — 網膜/ぶどう膜疾患 —

■DE-102 糖尿病および網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
日本	P2/3	P2/3	一般名:ベタメタゾン

■DE-120 滲出型加齢黄斑変性

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
米国	P1/2a	—	VEGF/PDGF阻害剤

■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
米国	P3	P3	一般名:シロリムス
日本	P3	P3	
欧州	P3	P3	

主要臨床プロジェクトの現状ーサンテン・エス・エー・エスー

■Cyclokot(シクロカット) 重症ドライアイ

製品名:アイケルビス(欧州)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
欧州	申請	申請準備中	一般名:シクロスポリン
米国	P2終了	P2終了	

■Vekacia(ベカシア) 春季カタル

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/6発表時)	
欧州	P3	P3	一般名:シクロスポリン

※以下のものは事業性評価中

開発品名	適応症	地域	開発段階	備考
Catioprost (カチオプロスト)	緑内障・ 高眼圧症	欧州	P2	一般名:ラタノプロスト
Cortiject (コルチジェクト)	糖尿病 黄斑浮腫	米国	P1/2	一般名:デキサメタゾン パルミチン酸エステル

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。